

## 事例 19 広島県府中市

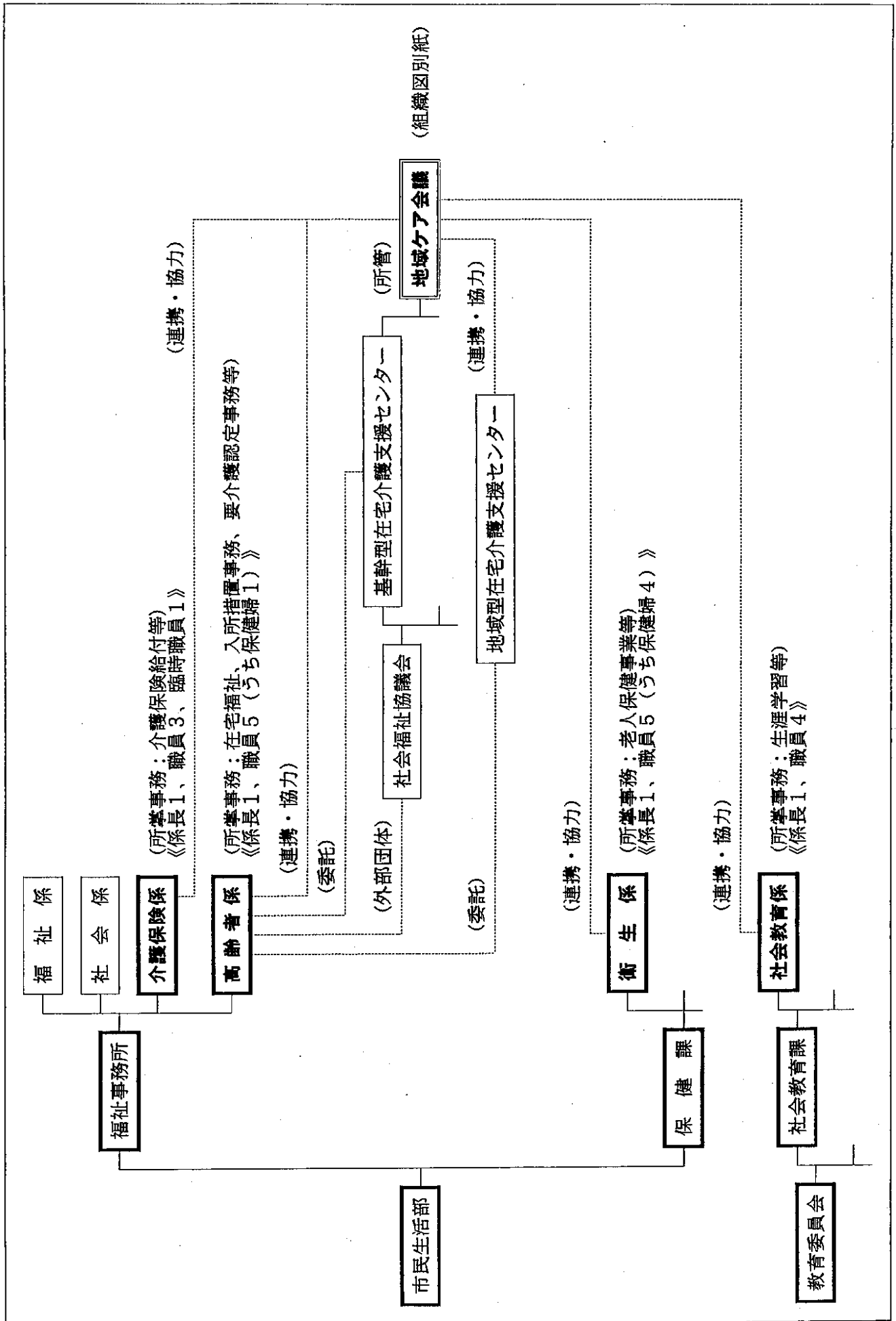
人 口	42,560 人
高齢者数	9,674 人
高齢化率	22.73%
担当部署	市民生活部福祉事務所高齢者係

# 1. 市町村の概況

市町村の沿革・概要	<p>府中市は、広島県の東南部内陸地帯に位置し、面積の大半が山地で、三方を山で囲まれて盆地を形成しており、西北部から東南部にかけて、県内三大河川の一つである芦田川が縦貫しています。</p> <p>現在の府中市は、1954年3月31日芦品郡府中町、岩谷村など周辺6カ町村が合併して市制を施行し、その後4カ町村を編入合併し、現在の市域となっています。</p> <p>その市域は、東西11.24km、南北14.24km、面積110.18km<sup>2</sup>、東は芦品郡新市町、南は福山市、西は御調郡御調町及び世羅郡甲山町、北は甲奴郡上下町及び神石郡三和町にそれぞれ隣接しています。</p> <p>府中市の高齢者人口は、1975年の旧協和村との合併時をピークに総人口は減少しているにもかかわらず、65歳以上の高齢者人口は年々増加し、2001年12月1日現在の高齢者人口は9,674人、高齢化率22.7%となっています。</p>									
	人口 (2001年12月現在)	42,560人			高齢者数(高齢化率) (2001年12月現在)	9,674人(22.7%)				
	世帯数 (1998年7月現在)	65才未満の者のみの世帯			65歳以上の者のいる世帯					
		6,012			単独世帯	65歳以上夫婦のみ世帯				その他
要介護認定 (申請)者数 (実人数) (2001年11月現在)	申請中	非該当	要支援	要介護1	2	3	4	5	合計	
	20	13	244	343	269	164	153	239	1,445	
社会資源状況	指定居宅サービス事業所 (か所数)			訪問看護 (2)	訪問介護 (2)	通所介護 (3)				
				通所リハ (1)	短期入所系 (6)	その他 (10)				
	指定居宅介護支援事業所 (か所数)			9か所						
	保健センター 在宅介護支援センター (か所数)			在宅介護支援センター(基幹型) 1か所 (地域型) 4か所  ※保健福祉センターなど、保健・福祉が一体となった施設があれば、記入してください。						
介護予防事業の拠点となりうる場(か所数) (公的施設以外も含む)			介護老人福祉施設3か所、介護老人保健施設1か所 中学校4か所、小学校9か所、保育所・幼稚園18か所 公民館14か所、老人集会所14か所							
介護予防事業の担い手となりうる組織・団体 (組織・団体数、人員数)			在宅介護支援センター5か所、社会福祉協議会1か所、民生・児童委員協議会92人、医師会1か所、歯科医師会1か所、薬剤師会1か所、地区社協 1か所、女性連合会、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会							

※データについては、できるだけ直近のものをお願いします。

## 2. 市町村の高齢者保健福祉行政の組織図



### 3. 「介護予防事業」を企画する前の状況について

質問事項	回答欄
<p>(問1) 「介護予防事業」に関連(類似)する事業がありましたか。</p>	<p>(○) 関連(類似)事業があった。 →問2～問4へ ( ) 関連(類似)事業はなかった。 →問5へ</p>
<p>(問2) 実施していた事業は、どのような根拠に基づき、どの部局が所管していた事業ですか？ また、その事業内容についてもご記入ください。</p> <p>※既存資料で、事業内容等わかるものがあれば添付して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">資料 1</div>	<p><b>事業実施の根拠</b> : 単独市費</p> <p><b>所管部局</b> : 福祉事務所 高齢者係</p> <p><b>事業内容</b> : (1) 事業名 「いきいきふれあいサロン事業」 (2) 事業目的 公的諸制度によるサービスでは充足されない福祉ニーズについて、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域福祉活動の一環としてこの活動を促進する。 当事者と地域ボランティアが、自主的に助合の場づくりとして小地域で日常的に開催されるよう活動の普及を図る。 (3) 対象者 介護保険の対象とならない高齢者・障害者・子育て家庭の親等 (4) 実施回数 (2000年度実績) 28地区で合計399回 (5) スタッフ 各地区ごとの地域(町内会)ボランティア</p> <p><b>実施方法</b> : 社会福祉協議会へ委託</p>
<p>(問3) 上記事業の効果測定(評価)を行いましたか？</p>	<p>(○) 行った ( ) 行っていない ↓</p> <p>(具体的方法) 「府中市介護保険事業計画等運営協議会」「府中市地域ケア会議」において実績報告し、評価を受けています。</p>

### 3. 「介護予防事業」を企画する前の状況について

質問事項	回答欄
<p>(問4) 従来の事業を「介護予防事業」という形で見直したり、また新たな施策を企画することになった経緯について下記の様な点を含めて記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心となった部局はどこか？</li> <li>・何がきっかけとなり、どのような判断をしたのか？</li> </ul>	<p>2000年4月からの介護保険制度施行に伴い、高齢者の在宅福祉事業として「介護予防・生活支援事業」の各種事業が補助事業とされ、そのひとつとして、「いきいきふれあいサロン事業」の事業目的・対象者・スタッフ等の受入体制の充実を図り、「生きがい活動支援通所事業」として位置付け、社会福祉協議会へ委託。</p> <p>また、市内各地に12か所の支店をもつ農業協同組合から自組合所有の遊休施設を利用し通所施設を実施したいという企画書が提出され、「府中市介護保険事業計画等運営協議会」「府中市地域ケア会議」で決裁を得たうえで施設設備については「介護予防拠点整備事業」の適用を受け、運営については「生きがい活動支援通所事業」として事業委託したものです。</p> <p>一番問題であったのは、今まで補助事業・委託事業については社会福祉法人等の事業所にのみへ適用していたものが、初めて民間へ補助金、委託契約ということに対して各会議の委員からかなりの抵抗があったことです。その間、農協と企画書の変更を協議し、農協事業への結びつけ(年金相談、保険勧誘、預貯金相談等)、営利目的等々削除修正を加えました。</p> <p>介護保険施行後、在宅での介護をささげるための拠点となる専用施設が不足していることもあり市内の遊休施設の有効利用について検討していたときであったこと等非常にタイミングが良かったこともあり、<u>地域高齢者の生活支援、地域の活性化、健康の維持増進および高齢者の閉じこもり防止等在宅での介護をささえるための拠点として効果的であると判断しました。</u></p> <p>当市の事業計画では、2004年度に「保健福祉総合センター」の建設を予定しており、併せて当事業の効果的な運営を検討しております。</p> <p>その他にも、<u>事業実施が市内中心地へ偏りがちではという意見を取り入れ、市内北部の休園保育所に「託老所」を設置し、社会福祉協議会へ委託し、職員の採用や給食の配達を地元からお願いするなど地元町内会との連携を十分に取り地域の活性化を図っています。</u></p> <p>当市の事業実施については、「地域ケア会議」「事業計画運営委員会」で協議した内容について市が予算化するながれをとっています。行政サイドでは福祉事務所が中心となり、保健課、教育委員会からも「地域ケア会議」のメンバーとして協力をお願いしています。</p>
<p>(問5) (問1)で、関連(類似)事業がなかったと答えた市町村にお聞きします。 今般、「介護予防事業」に取り組もうとしたきっかけは何ですか？</p>	

#### 4. 「介護予防事業」の企画立案体制について

質問事項	回答欄
<p>(問1) 「介護予防事業」の企画立案体制について下記のような点を含めて記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような場を利用し、どのような機関・団体等と協議したのか？</li> <li>・学識経験者や現場の担い手などの意見をどのように採り入れたか？</li> <li>・高齢者やその家族、地域住民等の参加する機会があったのか？</li> <li>・どの部局が中心となって企画し、他の部局との協力体制は、どうであったのか？</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">資料 2</div>	<p>当市では、高齢者の保健・福祉に対するニーズに適正に対応するための体制整備を図るため、民生委員協議会、社会福祉施設、社会福祉協議会、保健医療機関、労働者代表、人権擁護団体、市議会議員、ボランティア団体、町内会連合会、女性連合会、老人クラブ連合会、商工会議所等からなる「府中市介護保険事業計画等作成委員会」により「新高齢者保健福祉総合計画・介護保険事業計画」を作成。サブ組織として、助役、総務・市民生活・建設各部長、総務部・市民生活部・建設部の各課長および教育委員会等からなる「府中市介護保険事業計画等作成委員会幹事」を設置し協議しています。2000年3月事業計画作成後は、「介護保険事業計画等運営協議会」（作成委員会のメンバーによる）で進捗管理を行っています。</p> <p>その他に、介護予防・生活支援の観点から、要介護となるおそれのある高齢者に効果的な予防サービスの総合調整、地域ケアの総合調整等を行うため、行政として福祉事務所、保健課、教育委員会の社会教育課、基幹型・地域型の各在宅介護支援センター、社会福祉協議会、民生・児童委員協議会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、地区社協、女性連合会、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会、町内会連合会等からなる「府中市地域ケア会議」を基幹型在宅介護支援センターへ設置し、各事業の変更・修正・新規適用及び体制整備等を協議しています。</p> <p>「府中市地域ケア会議」に「企画・総合調整会議（代表者会議）」、「府中地区介護支援専門員連絡協議会」、「サービス提供事業者会議」、「居宅介護支援事業者会議」、「住民グループ部会」、「在宅介護支援センター代表者会議」、「在宅介護支援センター担当者会議」、「保健・福祉サービス調整会議」、「社会参加・生きがい対策会議」の専門部会を設け、各組織・団体の代表者から担当者までの意見を採り入れています。</p> <p>今回の「いきいきひろば」（農協委託事業）および「つばきえん」（託老事業として社協委託事業）についても農協から「地域ケア会議」へ直接出席し、事業企画内容を説明。また、託老事業についても市（福祉事務所）で作成した事業計画書を事前に社協と協議し、「地域ケア会議」へ提案しました。</p> <p>託老事業については、地域の高齢者に対しアンケート調査を行い、ニーズに沿った事業内容に企画しました。</p> <p>「いきいきひろば」「つばきえん」の「地域ケア会議」への提案については、福祉事務所が調整および資料作成し、事業実施に伴い保健婦等の協力について保健課に依頼。また、施設の増改築については、設計、入札手続き及び工事検査を監理課、都市計画課へ依頼し、協力していただいています。</p>
<p>(問2) 「介護予防事業」を企画する際、下記の様な検討事項があったと思います。 貴市町村での検討事項と検討内容、その結果について記入して下さい。</p> <p>(検討事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズをどのように把握するか？ (ニーズ把握の方法)</li> </ul>	<p>(1) ニーズをどのように把握するか？</p> <p>「いきいきひろば」の場合は、農協からの企画内容が北海道で民間事業所がかなりの成功を収められているものを参考としており、その中で効果的なものを採り入れています。</p> <p>地域住民の意見として、代表として老人クラブ連合会、地元老人クラブに事業紹介をし意見を伺う方法を取りました。</p> <p>「つばきえん」の場合は、対象小学校区エリアの約1,500人の全高齢者にアンケート調査を行いました。また、地域町内会組織と1年以上も内容調整を行い、地域の納得のいく体制でオープンを迎えました。</p>

#### 4. 「介護予防事業」の企画立案体制について

質問事項	回答欄
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業対象者の選定方法はどうか？</li> <li>・事業に従事する人材をどのように確保するか？</li> <li>・既存の設備の利用が可能か？</li> <li>・新たな設備整備が必要か？</li> <li>・どの部局の事業予算をどのように確保するか？</li> </ul>	<p><b>(2) 事業対象者の選定方法はどうか？</b>  「いきいきひろば」の場合は、農協からの当初の提案はかなりの広範囲で受け入れるようになっていましたが、「介護予防・生活支援事業」として実施する以上、その補助対象となる方の範囲内で実施するよう修正。概ね60才以上の自力で通所できる比較的元気な高齢者となりました。当然介護認定を受けていないことも条件です。  「つばきえん」の場合は、当初対象小学校区エリアの比較的元気な高齢者としていましたが、アンケート調査等で希望者が400名近くおられ受け入れ困難と判断しました。また、利用施設の使用権が地元町内会にあるため、ほかの地域住民の使用に対して抵抗があったこと等、町内会運営委員会と調整のうえ1町内会（対象地区）に住む介護認定を受けていない60歳以上の比較的元気な高齢者となりました。</p> <p><b>(3) 事業に従事する人材をどのように確保するか？</b>  「いきいきひろば」の場合は、健康機器等の使用が伴い、専門的なインストラクターが必要であることから、当面、インストラクターの派遣を受け、ヘルパー資格2級を所持している農協職員に研修していただいております。  「つばきえん」の場合は、当面、社協から主任職員を派遣し、地元住民からヘルパー資格者または介護職の経験のある方を募集し、社協により採用試験を行い、雇用しました。</p> <p><b>(4) 既存の設備の利用が可能か？</b>  「いきいきひろば」の場合は、まず市内中心地でアクセス面、用地の確保、専用で永年にわたり使用可能な施設等適当な候補施設がなく農協からの企画内容は以上の条件を満たしていました。また、米蔵であったことから白壁で非常に施設として適しており、改修工事のみで対応可能であったことが決め手となりました。  「つばきえん」の場合は、既存の保育所をそのまま利用し、備品のみの購入と一部トイレ改修、スロープ設置、廊下の滑り止め加工を施し使用しています。</p> <p><b>(5) 新たな設備整備が必要か？</b>  (4)のとおり、両施設とも当初より遊休施設の有効利用を前提に協議していましたので新設は検討していませんでした。  しかし、2004年度開設予定の「保健福祉総合センター」での「生きがい活動支援通所事業」のみ計画どおり新設で設置の予定です。</p> <p><b>(6) どの部局の事業予算をどのように確保するか？</b>  「いきいきひろば」の施設整備・設備整備については、介護予防拠点整備事業の補助適用を受けるまで「生きがい活動支援通所事業」の充実について議論しておりましたので、もともと福祉事務所高齢者係で対応することとなっていました。  また、両事業の運営についても「介護予防・生活支援事業」の補助事業として委託していますので、福祉事務所高齢者係で予算化及び進捗管理をしております。</p>

## 5. 「介護予防事業」の実施について

質問事項	回答欄		
<p>(問1) 企画した「介護予防事業」の内容について記入して下さい。</p> <p>※事業の実施要綱、事業概要があれば添付して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 20px auto;">資料3</div>	<p><b>【事業目的】</b> 家に閉じこもりがちな高齢者、要介護状態になるおそれのある高齢者等に対し、通所等による各種サービスを提供することにより、社会的孤立感を解消するとともに、介護予防教室等の開催により要介護状態に陥らないよう予防を図り、これらの者の自立した生活を支援し、もってその家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的とする。</p>		
	(1) 事業名	生きがい活動支援通所事業「いきいきひろば」	父石町通所施設つばきえん運営事業
	(2) 対象者	要介護認定で「自立」と判定された高齢者及び介護保険の対象とならない比較元的元気な概ね60歳以上の家に閉じこもりがちな高齢者で自力で通所できる方	要介護認定で「自立」と判定された父石町にお住まいの概ね60歳以上の比較元的元気な方で自力で通所できるか家族等による送迎が可能な高齢者
	(3) 事業内容	健康、生きがい、楽しみづくりの拠点とする	健康チェック、健康体操、健康器具の利用、おしゃべり、相談、ゲーム、カラオケ、季節行事により地域間交流、世代間交流を行う
	(4) 開所時期	2001(平成13)年9月1日～	2001(平成13)年12月1日～
	(5) 実施回数	祝祭日・年末年始・お盆以外の月曜日から金曜日までの平日は開所 好きな日に好きな時間に1日・1週・1ヵ月に何回でも通所可能	祝祭日・年末年始・お盆以外の月曜日から金曜日までの平日は開所 原則、週1回の通所とし必要に応じ最高週5回まで相談に応じる
	(6) 実施体制 (スタッフ、研修)	当面、専門インストラクター2名とヘルパー2級資格所有者3名および経理職員(兼務)1名	社協からの派遣職員1名、従事職員1名と登録(非常勤)職員3名および経理職員(兼務)1名
	(7) 事業予算・補助金	委託料(予算) 年額6,318,000円	委託料(予算) 年額5,303,000円
	(8) 事業所管課	福祉事務所	福祉事務所
	(9) 他課との連携(協力)体制	保健課保健婦による健康講座・健康相談等	保健課保健婦による健康講座・健康相談等



## 5. 「介護予防事業」の実施について

質問事項	回答欄		
<p>(問2) 住民に対して、どのように事業を周知しましたか？</p> <p>※周知するための広報資料の現物の写しなどがあれば添付して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">資料4</div>	<p><b>【いきいきひろば】</b> 市広報紙 : 7月15日号・8月1日号掲載 パンフレット : 市内主要カ所へ配置 有線放送 : 開所前の数日間は毎日放送 開所後もイベントごとに内容を放送 ケーブルテレビ : 特集番組を放送</p> <p><b>【つばきえん】</b> 市広報紙 : 1月1日号掲載 ビラ : 父石町内全戸へ配布</p> <p>各事業ともに開所式(セレモニー)の開催について、報道関係者に告知し、新聞・地方紙に掲載されることでPR効果を高める。</p>		
<p>(問3) 「介護予防事業」の実施状況(実績)について記入して下さい。</p> <p>※貴市町村で実施状況(実績)をまとめた資料があれば添付して下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">資料5</div>	(1) 事業名	生きがい活動支援通所事業「いきいきひろば」	父石町通所施設つばきえん運営事業
(2) 事業費	2001年9月1日～2002年3月31日までの概算実績 3,685,500円	2001年12月1日～2002年3月31日までの概算実績 2,000,000円	
(3) 年間実施回数	祝祭日・年末年始・お盆以外の月曜日から金曜日までの平日は開所 好きな日に好きな時間に1日・1週・1ヵ月に何回でも通所可能	祝祭日・年末年始・お盆以外の月曜日から金曜日までの平日は開所 原則、週1回の通所とし必要に応じ最高週5回まで相談に応じる	
(4) 年間利用者数 (実人数、延べ人数)	(2001年9月～2001年12月) 実人数 : 311人 延べ人数 : 8,800人	(2001年12月) 実人数 : 84人 延べ人数 : 159人	
<p>(問4) 現在実施している「介護予防事業」の実施状況を見て、うまくいっていると感じられるのはどのような点ですか？</p>	<p><b>【いきいきひろば】</b> 運営母体が農業協同組合ということで幅広い関係機関を持っており、旅行、各種教室、各種相談、イベント等のカリキュラムの幅がかなり広い ため、農協病院の医師等による医療、予防等の各種講座の定期的実施や放送連(有線放送)「農協」を利用した実況放送などバラエティーに富んだ内容で実施されており、利用者数も1日平均100人以上を維持しています。また、配置職員がヘルパー資格2級を所持しているため何かの時の対応が可能であることです。 一番好評なのは、好きな時に行けて、好きなことができることでしょうか。</p> <p><b>【つばきえん】</b> 委託先は社会福祉協議会ですが、職員は地域の方を採用しており顔馴染みであり、実施場所も馴染みのある地域保育所であることから気軽に通所できています。 また、同施設内では「留守家庭教室」「乳幼児ふれあいランド」を実施しており、地域での世代間交流もできています。 システムやカリキュラム等についても地域町内会と協議をしたうえで実施していることが地域一体型となっているところだと考えています。</p>		

## 5. 「介護予防事業」の実施について

質問事項	回答欄
<p>(問5) うまく事業をすすめるために工夫している点などがあれば記入して下さい。</p>	<p><b>【いきいきひろば】</b> 事業内容、予算管理、備品管理等など民間との違いが見受けられたため、事業計画書の作成、月刊日程表の作成、各種教室・講座のための講師依頼、出納簿の作成、備品台帳の作成及び管理について、開所までの間事前に研修時間をもちました。また、月例報告書の作成・報告を義務付けています。 事業運営面については、当面専門のインストラクターの派遣を受けており、職員研修も併せて行っています。 イベント・各種教室・講演時には、保健婦の派遣等、専門職員の派遣を積極的に行っています。</p> <p><b>【つばきえん】</b> 開所準備段階で町内会との調整を十分に行ってきた経過があるため、開所後についても継続的に町内会との調整を行うよう委託先の社会福祉協議会へ依頼しています。 運営についても全面的に社会福祉協議会へ任せていますが、町内会や通所者の意見を尊重し、カリキュラム、イベントを工夫するようお願いしています。 この事業は、特定地域（父石町）エリアでの事業のため地域と一体的に実施していくことが重要であると考えています。</p>
<p>(問6) 今後、課題と感じている点があれば、それについても記入して下さい。</p>	<p><b>【いきいきひろば】</b> 通所対象者の範囲が比較的広範囲であることから、地域との交流が希薄となっているように感じています。地元町内会、老人クラブ、女性会等との交流ができるよう工夫をお願いしています。 また、農業協同組合として仕出し部門を持っており、配食事業を一体的にできる方法を検討中です。</p> <p><b>【つばきえん】</b> 特徴的なものがなく、目玉となる事業、行事等を探り入れたいと考えています。できれば特定地域だけでなくエリアを拡大しての事業展開を検討しています。また、常勤職員2名と登録職員2名だけでなく地域のボランティアを育成し、施設が乳幼児から高齢者まで地域ぐるみの施設となるような事業展開を検討しています。</p>
<p>(問7) 現時点で課題と感じている点に対し、考えられている対応策等あれば記入して下さい。</p>	<p><b>【いきいきひろば】</b> 地元町内会、老人クラブ、女性会等年間行事として施設との関わりを持っていただくよう働き掛けたいと考えています。また、地元「いきいきふれあいサロン事業」との連携を調整中です。 配食事業については、補助事業として実施する場合の条件整備の調整中です。利用料の増額につながる等解消すべき問題を含んでいます。</p> <p><b>【つばきえん】</b> 陶芸教室用の窯等の設備を設置し、趣味を通じて世代間交流ができるよう特徴的事業を展開したいと考えています。とにかく、人の集まる施設にしていくことが目標です。 ボランティアの育成についても、「地域ケア会議」の専門部会「住民グループ部会」のなかで、各地域でのボランティアの育成について「ボランティア連絡協議会」へ依頼しています。</p>

## 6. 「介護予防事業」の評価について

※行政が主体となって実施する（直轄・委託）保健・福祉事業に対する評価について伺います。

質 問 事 項	回 答 欄
<p>(問1) 「事業ごとの評価」について伺います。</p> <p>①各事業メニューごとに評価を行っていますか？</p>	<p>(○) 行っている。 →②へ</p> <p>( ) 行っていない。</p>
<p>②具体的な評価方法について記入して下さい。 (評価指標、評価時期、評価者等)</p> <p>※「事業ごとの評価」を行っている評価の資料があれば、添付してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">資料 6</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標 : 「いきいきひろば」「つばきえん」ともに今年度中途からの事業であるため指標は出していない。</li> <li>・評価時期 : 年度の上半期と下半期で上半期実績と年間実績を出し「介護保険事業計画等運営協議会」「府中市地域ケア会議」で報告し、評価を受けている。</li> <li>・評価者等 : 介護保険事業計画等運営委員会委員 府中市地域ケア会議委員</li> </ul> <p>※対象事業については今年度開始事業であり、まだ評価資料がないので「第3回府中市介護保険事業計画等運営協議会」資料抜粋を参考資料として添付します。</p>
<p>(問2) 「介護予防事業全体の評価」について伺います。</p> <p>①介護予防事業全体としての費用対効果をどのように評価していますか？ また、今後どのように評価したいと考えますか？</p>	<p>介護予防事業の施行からまだ2年目の現在、費用と効果に対する評価をすることは非常に難しいことですが、今後介護保険へ移行する高齢者を防ぐ重要な事業と考えています。また、その効果を十分上げる事業展開をしていると評価しています。</p> <p>その評価についても、引き続き「府中市介護保険事業計画等運営協議会」「府中市地域ケア会議」において評価し、評価の低い事業については、改善、縮小、廃止等検討し、必要な事業の拡大を協議します。</p>
<p>②各種の介護予防事業関連施策における定量的あるいは定性的な評価指標などがあれば記入して下さい。</p>	<p>特にありません。</p>